



株式会社 クールテクノロジーズ

Qool Technologies

HMS-350Yシリーズ 共通マニュアル

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。
この取扱説明書は、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでもご覧になれるところに必ず保管してください。

HMS-350Yのネットワーク機能をご使用になるには、以下の要件を満たしている事が必須となります。

- ・御使用のモデム（ルーター）がUPnPとDHCPサーバーに対応している必要があります
- ・ご契約プロバイダからグローバルIPアドレスが付与されている事
- ・LANケーブルを別途ご購入ください

安全のために

本製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし電気製品はすべて、間違った使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次の事を必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る
2~5ページの注意事項をよくお読みください。
この「安全のために」は、家電機器全般の安全上の注意事項を記載しています。
今回お買い上げの機器には当てはまらない内容も含まれています。

定期的に点検する
1年に1度は、電源コードに傷が無い、コンセントとACアダプタの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

故障したら使わない
動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い求めの販売会社へご連絡し、修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- ①ACアダプタをコンセントから抜く。
- ②お買い求めの販売会社に修理を依頼する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周囲の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を促す記号



製品仕様

HMS-350Y(メインユニット)

個別型番	HMS-350Y
機種名	メインユニット

■一般仕様

入力電圧	DC5V, 1A (ACアダプター使用)
消費電力 (Max)	5W
外形寸法	110 × 150 × 30mm (スタンド除く)
質量	200g (スタンド除く)
使用環境温度	0℃～40℃
使用環境湿度	20%～85%
設置方法	壁掛け/机上
RoHS指令	準拠

■有線LANインターフェイス

ポート数	1ポート (Auto MDI/MDI-X対応)
接続方式	100BASE-TX/10BASE-T
ネットワークタイプ	IEEE802.3u/IEEE802.3
通信モード	全二重/半二重 (オートネゴシエーション)
コネクタ形状	RJ-45 × 1

(注) 製品改良の為、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

ライセンスについて

本製品は以下のライセンス(Copyright/License)のもとに提供されたソフトウェアを使用しています。
FreeBSD
Copyright(c)1980,1986,1993
The Regents of the University of California. All rights are reserved..

redistribution and use in source code and binary forms, with or without modification, Are permitted provided that the following conditions are met:

- 1.Redistributions of source code must retain the above copyright notice. This list of conditions and the following disclaimer.
- 2.Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and /or other materials provided with the distribution.
- 3.All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
- 4.Neither the name of the University nor the name of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission..

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BYTHE REGENTS AND CONTRIBUTORS” AS IS”AND ANYEXPRESSOR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING,BUTNOTLIMITED TO THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITYAND FITNESS FORAPARTICULARPURPOSE ARE DISCLAIMED. INNOEVENT SHALL THE REGENTS ORCONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT,INCIDENTAL,SPECIAL,EXEMPLARY,ORCONSEQUENTIAL DAMAGES(INCLUDING,BUTNOTLIMITEDTO,PROCUREMENTOFSUBSTITUTEGOODS OR SERVICES; LOSSOFUSE,DATA,ORPROFITS;ORBUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSEDANDON ANYTHEORYOF LIABILITY,WHETHERINCONTRACT,STRICT LIABILITY,ORTORT(INCLUDING NEGLIGENCEOROTHERWISE)ARISING IN ANY WAY OUTOFTHEUSEOFTHIS SOFTWARE,EVEN IF ADVISED OFTHEPOSSIBILITYOF SUCH DAMAGE.
TINET(TCP/IP Protool Stack)
Copyright(C)2001-2006 by Dep.ofComputer Science and Engineering
TomakomaiNationalCo // egeofTechno109y,JAPAN

上記著作権者は、以下の(1)～(4)の条件か、Free Software Foundation によって公表されているGNU General Public License の Version 2 に記述されている条件を満たす場合に限り、本ソフトウェア(本ソフトウェアを改変したものを含む、以下同じ)を使用・複製・改変・再配布(以下利用と呼ぶ)することを無償で許諾する。

- (1)本ソフトウェアをソースコードの形で利用する場合には、上記の著作権表示、この利用条件および下記は無保証規定か、そのままの形でソースコード中に含まれていること。
- (2)本ソフトウェアを、ライブラリ形式など、他のソフトウェア開発に使用できる形で再配布する場合には、再配布に伴うドキュメント(利用者マニュアルなど)に、上記の著作権表示、この利用条件および下記は無保証規定を掲載すること。
- (3)本ソフトウェアを、機器に組み込むなど、他のソフトウェア開発に使用できない形で再配布する場合には、次の条件を満たすこと。
 - (a)再配布に伴うドキュメント(利用者マニュアルなど)に、上記の著作権表示、この利用条件および下記は無保証規定を掲載すること。
- (4)本ソフトウェアの利用により直接的または間接的に生じるいかなる損害からも、上記著作権者およびTOPPERSプロジェクトを免責すること。

本ソフトウェアは、無保証で提供されているものである。上記著作権者およびTOPPERSプロジェクトは、本ソフトウェアに関して、その適用可能性も含めて、いかなる保証も行わない。また、本ソフトウェアの利用により直接的または間接的に生じたいかなる損害に関しても、その責任を負わない。



下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにACアダプタをコンセントから抜き、お買い求めの販売会社にご連絡ください。



分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部の点検や修理はお買い求めの販売会社にご連絡ください。



電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずACアダプタを持って抜く。

万一、電源コードが痛んだら、お買い求めの販売会社に交換をご依頼ください。



国内専用機は海外では使用しない

本機は、日本国内専用です。交流100Vの電源でお使いください。

異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。



雷が鳴りだしたら、A(アダプタ)に触れない

感電の原因となります。



濡れた手で電源コードに触らない

感電の原因となることがあります。





下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

本体を布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



移動させるとき、長時間使わないときはA(アダプタ)を抜く

ACアダプタをコンセントに差し込んだまま移動させると、ACアダプタが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。長時間の外出や旅行のときは、安全のためにACアダプタをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると、火災の原因となることがあります。



お手入れの際、A(アダプタ)を抜く

ACアダプタをコンセントに差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。また、ACアダプタにほこりが溜まりますと火災の原因となることがあります。ACアダプタをコンセントから抜き、乾いた布等で拭いてください。



電源プラグはしっかりと差し込む

コンセントへの刺し込みが不完全ですと、ショートや発熱の原因となり、火災や感電することがあります。



ACアダプタはいつでもコンセントから抜けるようにする

異常を感じた際に、すぐにACアダプタをコンセントから抜けるようにACアダプタの周辺に家具や物を置かないでください。また、機器はなるべく使用するコンセントの近くに設置するようにしてください。万一の際、速やかにACアダプタを抜くことができないと火災の原因となることがあります。



コード類を束ねて使用しないでください

コードを束ねて使用すると、断線の原因となることがあります。火災や感電の原因となりますのでコード類は束ねず、伸ばしてご使用ください。



困ったときの対処方法 — 専用赤外線リモコン

現象	対処方法
リモコン信号の記憶が来ない	HMS-350Yと専用赤外線リモコンが正しく接続されていません。 HMS-350Yと専用赤外線リモコンが正しく接続されているか確認してください。 学習させたいリモコンの発光部と専用赤外線リモコンの受光部が正しい方向で向き合っていない。 専用赤外線リモコンと記憶させたいリモコン機器の向きが正しいことを確認して設定を行ってください。
機器操作ボタンを押すと機器番号ランプが暗くなることもある	専用赤外線リモコンが信号を送信するときに起こる現象です。 故障ではありません。
専用赤外線リモコンの操作で他の機器が動作した	リモコン信号が共通の機器が存在します。 機器によっては、違うメーカーのリモコンで想定外の動作をすることがあります。機器付属のリモコンで問題が発生しないかご確認ください。
操作したのに履歴に残らない	専用赤外線リモコンの機器操作ボタンを押した操作は履歴に残りません。 WEB画面からの操作であれば、履歴に残ります。

困ったときの対処方法 — 専用電源監視タップ

現象	対処方法
A(出力状態表示ランプ)が1秒周期で点滅している	専用電源監視タップの故障を検知しました。 AC出力コンセントに接続した機器を取り除いた後、ON/OFFスイッチを押してください。点滅が終わり、消灯したら通常通りに使用できます。
A(出力状態表示ランプ)が0.25秒周期で点滅している	過電流を検知しました。 電源コンセントやHM-350Yから専用電源監視タップを外してください。
電源監視タップのメールが頻繁に届く	A(出力コンセントにこたつなどの、頻繁に電力が入/切するものを接続しています。 操作ページでHMS-350Yのメール送信を禁止に設定して下さい。

困ったときの対処方法 — 専用無線ユニット

現象	対処方法
2台のHMS-H300RF2で続けざまに認証を行うと、1~5のランプが点滅して、認証できなくなる。	次の認証を行う前に1分以上時間を空けてください。

現象	対処方法
メールが届かない	<p>メールの送信が禁止されています。</p> <p>操作ページで全体へのメール送信を“許可”に変更してそれぞれ“送信”ボタンを押して下さい。</p> <p>インターネットの配信が遅れています。</p> <p>届くまでお待ちください。</p> <p>メールの設定が誤っています。</p> <p>メール送信先設定ページで設定したアドレスが間違っていないか確認して下さい。</p> <p>HMS-350Yやブロードバンドモデム(ルーター)にLANケーブルが接続されていません。</p> <p>LANケーブルを接続してください。</p> <p>HMS-350Yやブロードバンドモデム(ルーター)の電源がOFFになっています。</p> <p>それらの電源を入れてください。</p> <p>プロバイダーのメールサーバーで迷惑メールと誤判定されています。</p> <p>迷惑メールフィルタの設定を変更してください。</p> <p>詳しくはプロバイダーにお問い合わせください。</p> <p>パソコンのメーラー、またはウィルス駆除ソフト・セキュリティソフトで迷惑メールと誤判定されています。</p> <p>迷惑メールフィルタの設定を変更してください。</p> <p>詳しくはご使用中のソフトウェアの製造元にお問い合わせください。</p>
操作ページで「REMOTEコネクタは未接続です」と表示される。	<p>HMS-350Yに各種ユニットが接続されていないか、接続が緩んでいる可能性があります。</p> <p>ユニットを接続し直して下さい。</p>
WEBの「HMS-H350Y操作」画面で「不明」と表示される。	<p>HMS-350Yに電源を投入した直後か、各種ユニットを接続した直後です。</p> <p>1分ほど待ってから表示を更新してください。</p> <p>それでも変わらなければ、ユニットを接続し直してください。</p>
携帯電話やWEBブラウザに502エラーやサーバーが応答しないといったメッセージが表示される。	<p>HMS-350Yやブロードバンドモデム(ルーター)にLANケーブルが接続されていません。</p> <p>LANケーブルを接続してください。</p> <p>HMS-350Yやブロードバンドモデム(ルーター)の電源がOFFになっています。</p> <p>それらの電源を入れてください。</p> <p>インターネット上の通信が混雑しています。</p> <p>しばらく経ってから再度アクセスしてください。</p>

**注意**

下記の注意を守らないと
けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

本製品にさわるときは、身体の静電気を取り除く

人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失させる恐れがあります。本製品に触れるときは身近にある金属（ドアノブ、金属製の机、アルミサッシなど）に手を触れてから本製品に触れるようにしてください。


禁止

設置および保管場所に注意する

強い磁界、静電気が発生する場所には保管しないでください。故障の原因となります。また本製品からの高周波信号の影響で医療機器が誤動作を起こす可能性がある為、近くには設置しないで下さい。


禁止

コード類は正しく配置する

コード類を足に引掛けたりして引張ると、製品の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。設置、接続の際には十分注意して下さい。また、電源コードや接続コードを本体に巻きつけないで下さい。断線や故障の原因となります。


禁止

安定した場所に置く

ぐらつく、傾く等不安定な場所や振動が発生する場所に設置しないで下さい、製品が落ちて怪我や故障の原因となる事があります。また設置・取付け場所の強度にも十分注意して下さい。


禁止

本製品を破棄するときは、地方自治体の条例に従う

条例内容については、各地方自治体に直接お問い合わせ下さい。


禁止

<免責事項> 以下の事柄にご了承の上ご使用下さい。

・本製品使用時における操作端末機器(携帯電話・パソコン等)に関する契約、通信費等はお客様のご負担となります。

・本製品は、インターネット回線を使用している為、通信状況等外部要因により、メール送信の遅延等が起こる場合があります。予めご了承ください。

・本製品は、緊急通信システムではありません。お客様の人命財産に緊急事態が発生した際は、消防、警察等に連絡して下さい。万一、本製品のご使用中に、人命、財産等に対する損害が生じても当社は一切の責任をおいかねます。

・本製品の故障およびその他による営業上の損失は、当社では一切保証しかねます、ご了承下さい。


禁止

目次

安全のために	2
目次	6
ご使用になる前に	8
共通パッケージ内容	8
各部の名称	9
設置と接続	13
設置する前に	13
設置から使用開始までの概要	14
取り付け	14
ネットワーク機器との接続	14
機器の初期化	18

困ったときの対処方法 — 共通項目(2)

現象	対処方法
Webアクセスできない	<p>グローバルIPアドレスが変わった直後です。 グローバルIPアドレスが変わってもすぐにはDDNSが更新されたり、メールで報告されたりしません。メールが送信されません。最大30分間要しますので、それまでお待ちください。</p> <p>インターネットからアクセス可能なWEBカメラなどがLAN上に存在します。 WEBサーバのポート番号設定ページで、御使用の機器と異なるポート番号を指定してください。</p> <p>Softbankの携帯を使っている場合。 WEBサーバのポート番号設定ページでポート番号80を指定してください。ネットワーク上に80番のポートを使用している機器がある場合はその機器を他のポート番号に変更して下さい。</p> <p>インターネットからポート番号80でアクセスさせないプロバイダーです。 WEBサーバのポート番号設定ページでポート番号80以外を指定してください。</p> <p>WEBサーバポート番号変更ページで、ポート番号を変更しました。 WEBサーバのポート番号変更後は新しいURLにアクセスして下さい(番号変更後、登録メールアドレスへ新URLは送信されます)。</p>
「携帯電話の個体識別情報またはブラウザのCookieを送信できるように設定してください。」と表示される	<p>AUの携帯電話を使っている場合 EZ番号の通知を許可するか、Cookieの使用を許可してください。詳しくは携帯電話の取扱説明書やauホームページをご覧ください。</p> <p>Softbankの携帯を使っている場合 製造番号またはユーザーIDの通知を許可してください。一部の携帯電話にはこれらを通知する機能がありません。詳しくは携帯電話の取扱説明書やSoftbankのホームページをご覧ください。</p> <p>携帯電話やブラウザのCookieの使用を禁止しています。 許可してください。</p>

故障かな？と思ったら

一度、下記、「困ったときの対処方法」の内容をご確認ください。

それでも正常動作しない場合は、お買い求めの販売会社にご相談下さい。

困ったときの対処方法 — 共通項目(1)

現象	対処方法
全てのランプが点灯しない	電源がOFFになっています。 HMS-350Yの電源が入っているかを 確認してください。
Webアクセスできない	<p>インターネットに常時接続していません。 常時接続に変更してください。</p> <p>ブロードバンドモデム(ルーター)のWAN側に グローバルIPアドレスが割り当てられていま せん。 一部のCATV等ではプライベートIPアドレスを割り 当てます。その環境では使用できないので、グロー バルIPアドレスを割り当ててもらえるプロバイダー に変更してください。</p> <p>HMS-350Yやブロードバンドルーターに LANケーブルが接続されていません。 LANケーブルを接続してください。</p> <p>HMS-350Yの電源を入れた直後です。 1分ほど経ってからアクセスしてください。</p> <p>HMS-350YがIPアドレスを取得できていません。 HMS-350Yがモデム(ルーター)に接続されて いるかを確認してください。</p> <p>メインユニットやブロードバンドモデム(ルーター)の 電源がOFFになっています。 それらの電源を入れてください。</p> <p>ブロードバンドモデム(ルーター)がUPnP 非対応です。 UPnP対応のモデム(ルーター)をご使用ください 古いモデム(ルーター)の中にはUPnPに対応してい ない機種があります。その際はUPnP対応の モデム(ルーター)をお買い求め下さい。</p>

WEB画面の操作	19
アクセス方法	19
ログイン	19
操作	20
機器の履歴	21
センサー毎のメール設定(一覧)	22
センサー毎のメール設定(防犯).....	22
センサー毎のメール設定(見守り).....	23
設定項目一覧	24
機器名称変更	25
ログイン設定	27
WEBサーバーポート番号変更	28
メール送信先設定	28
メール件名変更	29
Dynami(DNS設定)	30
パスワード変更	31
センサー認証解除	31
メール	32
概要	32
メール本文	33
その他	34
故障かな？と思ったら	34
ライセンスについて	38
製品仕様	39

ご使用になる前に

本製品は、緊急通報システムではありません。お客様の人命、財産に緊急事態が発生した際は、消防、警察等に連絡してください。万一、本製品のご使用中に人命、財産等に対する損害が生じて当社は一切の責任を負いかねます。

本製品の故障およびその他による営業上の機会損失は、当社では保障しかねますので、ご了承ください。

本製品は、インターネット回線を使用したシステムです。インターネットの状況等外部要因により、メール送信の遅延などが起こる場合があります。予めご了承ください。

共通パッケージ内容

パッケージには、以下のものが梱包されています。万一不足しているものがありましたら、お手数ですがお買い求めの販売会社までご連絡ください。

・「HMS-350Y本体(メインユニット)」	1台
・「縦置き用スタンド」	1個
・「ACアダプタ」	1個
・「共通マニュアル(本誌)」	1冊
・「スタートガイド(ユニット別)」	1冊

※ 他のネットワーク機器との接続にLANケーブル(別売り)が必要となります。本製品をご使用の際は別途LANケーブルのご用意をお願いいたします。

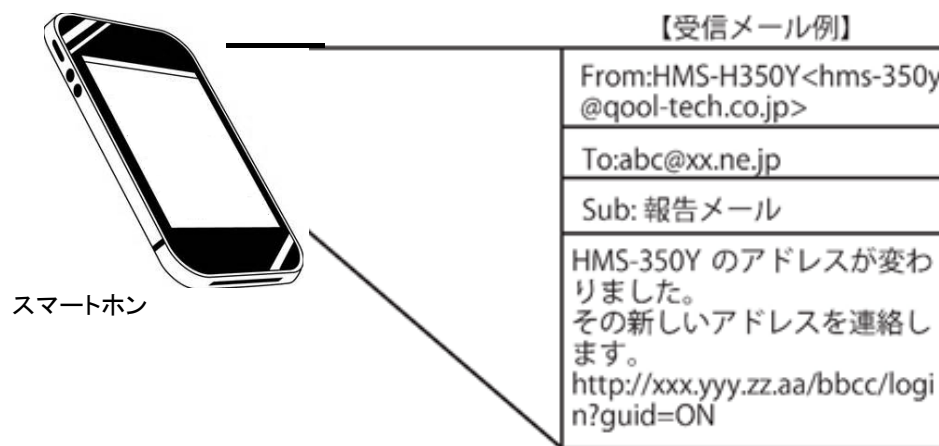
※ 本製品は壁掛けでも使用できますが、壁に設置する際に使用するネジが同梱されておりません。壁掛けで使用する際には別途ネジをご用意ください。(ネジは「丸木ネジ呼び径3.1」をご用意ください)

<本製品の特徴>

WEBブラウザを使用して外出先からHMS-350Yに接続された各種ユニット(HMS-H300RM,HMS-H300RB,HMS-H300RF2等)の制御をする事が可能です。

メール本文

通知されるメールの内容は、次のようになります。



- ① 送信元メールアドレス(From)
” hms-350y@qool-tech.co.jp ” から送信されます。
(送信専用のメールアドレスなので返信しないでください。)
- ② 送信先メールアドレス(To)
メール送信先設定ページで設定した全ての
メールアドレスにHMS-350Yからメブレが送信されます。
- ③ メール本文
接続機器の状態、またはHMSシステムが行った動作と、
HMSシステムへアクセスするためのアドレスが記述
されます。
受信メール例ではブロードバンドモデム(ルーター)の
グローバルIPアドレスが変わったときのメールを示して
います。

「HMS-H350Yのアドレスが変わりました。
その新しいアドレスを連絡します。

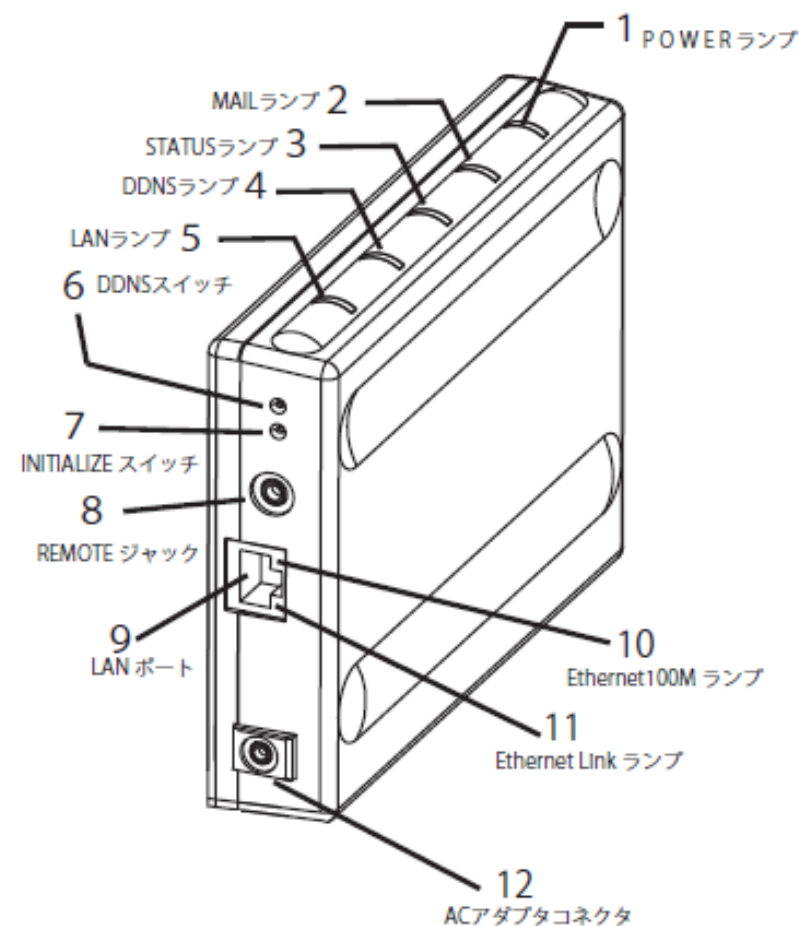
<http://xxx.yyy.zz.aa/bbcc/1091n?9uid二ON>」

概要

以下のメールが送信されます。

- ・専用電源監視タップ接続機器の状態。
 運転状態(消費電力)が変化したとき。
- ・専用マグネットセンサーの対象物の状態
 設置した窓や扉が開いたり、電池が切れたり、
 無線通信が失敗したとき。
- ・HMS-350YのWEBサーバーのアドレスの変更
 P.30のDDNSが「使用しない」または「その他」の
 場合にHMS-350YのグローバルIPアドレスが変化した時。
 また、P.28のWEBサーバーポート番号を変更したとき。
- ・ログイン制限解除ページのアドレスの報告
 P.27のログイン制限を「制限あり」にしている状態で、
 ログイン許可端末以外にこれまでにログインしたことが
 ない端末)でアクセスしても、ログイン画面は表示されません。
 その代わりに「メール送信ボタン」が表示されます。
 このボタンを押すと、P.28で設定済みのメールアドレス宛
 にメールが送られます。そのメールには、ログイン制限解除
 ページのアドレスが記載されており、そのページで正しいパ
 スワードを入力すると、ログイン制限が解除されます。
- ・メール送信先の変更
 P.28のメールアドレスの追加・変更・削除時。
- ・REMOTEジャックからユニットが外れた事
- ・HMS-350Yの電源投入(停電復旧)
 HMS-350Yの電源プラグをコンセントに差し込んだ時や
 停電から復旧した時。
 メール送信が禁止されていても、送信します。

【正面側】



1. POWER ランプ

メインユニットの通電状態を表します。

ランプ表示	状態
点灯	メインユニットが通電されている。
消灯	メインユニットが通電されていない。

2. MAIL ランプ

メインユニットの全体メールの送受信状態を表示します。

ランプ表示	状態
点灯	メインユニットからのメール送信が許可された状態です。
消灯	メインユニットからのメール送信が禁止された状態、またはメインユニットが通電されていない状態です。

メインユニットからのメール送信の許可／禁止を表示しますが、これはシステム全体の設定にすぎません。専用マグネットセンサーには送信頻度や無反応検知時間、送信禁止時間帯を設定できますが、それらが原因でメール送信できないとしても、このランプには表示されません。操作ページ(P.20)を参照してください。

3. STATUS ランプ

メインユニットの使用可否を表示します。

ランプ表示	状態
点灯	メインユニットを使用可能です。
消灯	メインユニットが通電されていません。
点滅(1秒間隔)	メインユニットの準備中で、通電してから使用可能になるまで継続する。
点滅(0.25秒間隔)	通信エラー。 5分後には通常の表示に戻る。

<パスワード変更>

操作>設定>>パスワード変更

現在のパスワードを変更する事が出来ます。
(半角英数字4～8文字)

- ①上から順に
- ・現在設定されているパスワード
 - ・新しく設定するパスワード
 - ・再度新しく設定するパスワードを入力後、設定ボタンを押す

<センサー認証解除>

操作>設定>センサー認証解除

無線ユニットに登録（スタートガイド参照）したセンサーユニットの認証を解除できます。

※注意※

このページは無線ユニット(RF2ユニット)をHMS-350Yに接続した状態でのみ表示されます。

- ②認証を解除する場合、解除したいセンサーにチェックをして解除ボタンを押して下さい。

<Dynamic DNS 設定>

操作>設定>DynamicDNS設定

Dynamic DNS 設定 [ログアウト](#)

Dynamic DNS の設定を変更すると、HMS-350Yのアドレスが変わることがあります。また、それに伴ってログインページが表示されることがあります。アドレスが変わる場合には、その新しいアドレスをお知らせします。

Dynamic DNS 使用方法 ①

使用しない
Tomada- DDNS@Qoa0
DynDNS
その他

使用方法に
場合には、
その他
次の3項目を入力してください。

DynDNS ホスト名

DynDNS ユーザー名 ②

DynDNS パスワード

▼ Dynamic DNS 使用方法に“その他”を選択した場合、http:// から始まるアドレスを入力してください。なお、“*”を含めると、“*”はHMS-350YのグローバルIPアドレスに置き換わります。

その他のアドレス

設定 ③

備考: Dynamic DNS 使用方法に“使用しない”を選択した場合には、HMS-350YのグローバルIPアドレスが変化するたびにメールで新しいアドレスをお知らせします。それ以外を選択した場合には、お知らせしません。

[設定項目一覧ページへ](#)
[操作ページへ](#)

HMS-350Yで使用するDDNSサーバーを変更・設定する事が出来ます。

①リストに表示されたサーバーから選択してください。デフォルトは“使用しない”になっています。

※他社のDDNSサーバーも設定可能です。

②“DynDNS”をご利用になるには、このスペースに必要な情報を入力する必要があります。

③①のリストで“その他”を選択した場合、ご使用になるDDNSの更新(IPアドレス登録)用URLをここに入力して下さい。

上記変更は“設定ボタン”を押す事で反映されます。

4. DDNS ランプ

Dynamic DNSの使用／未使用を表示します。
これは、HMS-350YのURLにDynamic DNSを使用するように設定されているか否かを表しています。

ランプ表示	状態
点灯	Dynamic DNS使用。
消灯	Dynamic DNS未使用かメインユニットが通電されていない。

5. LAN ランプ

LANの通信状態を表示します。

6. DDNS スイッチ

DynamicDNSの使用・未使用を切り替えます。
(10秒以上押し続けるとグローバルIPアドレスの取得元がクールテクノロジーズのサーバーとモデム（ルーター）との間で切り替わります。)

7. INITIALIZE スイッチ

2秒以上押し続けると、工場出荷状態に戻ります。

8. REMOTE ジャック

専用赤外線リモコンや専用電源監視タップ、専用無線ユニットを接続します。

9. LAN ポート

Ethernetでの通信に用います。

10. Ethernet 100M ランプ

Ethernetへの100Mbps接続の状態を表示します。

ランプ表示	状態
橙点灯	Ethernetが100Mbpsでリンクしています。
消灯	Ethernetが100Mbpsでリンクしていません。 (10Mbpsもしくは未接続)

11. Ethernet Link ランプ

Ethernetの状態を表示します。

ランプ表示	状態
緑点灯	Ethernetのリンクが確立しています。
緑点滅	Ethernetのアクセス中です。
消灯	Ethernetのリンクが確立されていません。

12. ACアダプタコネクタ

メインユニットへ電源を供給するACアダプタの接続先です。

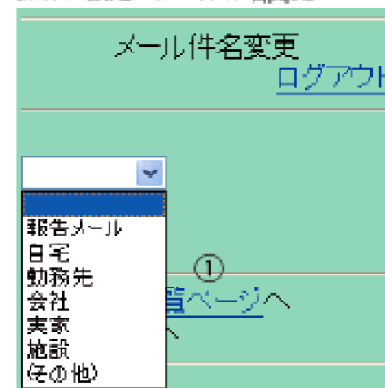
13. 壁掛け用ネジ穴

HMS-350Yを壁に掛けて設置する際に使用します。

壁掛けの方法は「壁掛けの取り付け」(P.14)を参照して下さい。

<メール件名変更>

操作>設定>メール件名変更

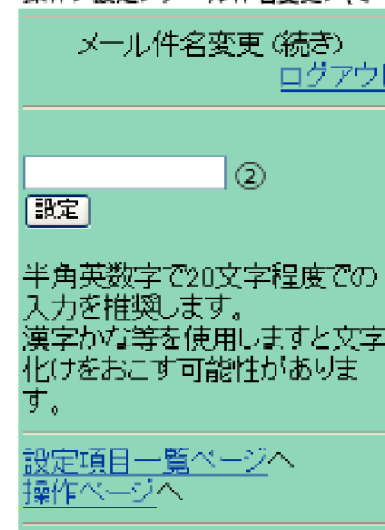


送信されてくるメールの件名を変更することが出来ます。

- ①表示されたリストから適した件名を選択して設定ボタンを押して下さい。
 “(空白)”を設定するとメールの件名は無題になります
 “(その他)”を選択する事で名称を直接入力可能です。

(ページ下部で説明)

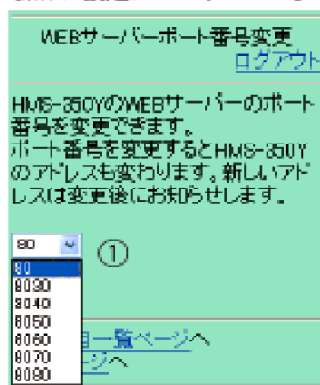
操作>設定>メール件名変更>(その他)



- ②下記の点に注意して任意の名称をご入力下さい。
- ・設定した名称は、次回以降リストの上部に表示されます。
 - ・入力する名称には文字化けする可能性がある為、漢字、カナ等の使用はお控え下さい。
(半角英数字で10文字程度を推奨)
 - ・任意に設定できる件名は1つなので、次回以降の入力は前回入力した名称に上書きされます。

<WEBサーバーポート番号変更>

操作>設定>WEBサーバーポート番号変更



HMS-350Yで使用するポート番号を変更(選択)する事が出来ます。

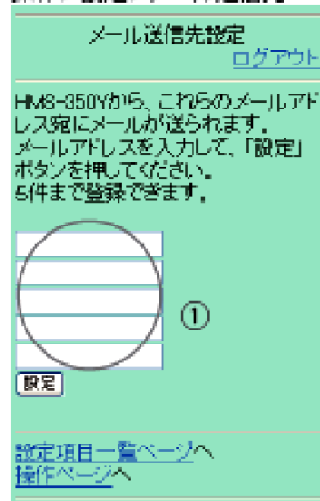
①HMS-350Yはデフォルトでポート80番を使用しています。ご利用のネットワーク上で同一のポート番号がすでに使用されている場合、変更の必要があります。リストに表示されているポート番号の中から使用されていないポート番号を選択して、設定ボタンを押して下さい。

※重要※

ポート番号を変更する前に必ずメールアドレスを設定して下さい。ポート番号変更後のHMS-350Y設定画面URL(アドレス)の通知を受けられず、設定画面へアクセスできなくなる可能性があります。

<メール送信先設定>

操作>設定>メール送信先



メールの送信先は最大で5つまで設定することが出来ます。

①メールを送信したいアドレスを入力して設定ボタンを押して決定。

設置する前に

以下の点をよくお読みのうえ、本製品を設置してください。

HMS-350Yは単体では機能しません、専用ユニット(赤外線リモコン・電源監視タップ・無線ユニット)を接続してご利用下さい。

HMS-350Yは、スタンドまたは壁掛けで設置できます。お好みに合わせて、どちらかを選択して設置してください。

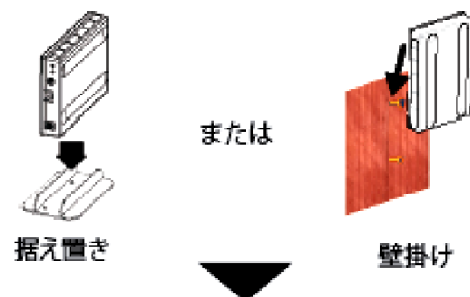
本製品をご使用になるためには、本製品の他に以下の機器が必要になります。

- ・インターネットに接続出来る端末（携帯電話・パソコン等）
HMS-350Yのホームページを閲覧・操作します。
- ・LAN ケーブル
本製品に LAN ケーブルは同梱されておりません。本製品の機能をご使用になるには、LAN ケーブルにてインターネット接続できる環境に接続する必要がありますので別途 LAN ケーブルをご用意ください。
- ・ネジ（HMS-350Yを壁に設置する場合）
本製品に壁掛け用のネジ等は同梱されておりません。壁掛けでご使用になる場合は別途ネジをご用意ください。ネジは「丸木ネジ呼び径3.1」をご用意ください。
- ・UPnPとDHCPサーバーに対応したブロードバンドモデム（ルーター）
ご家庭の LAN 環境に DHCP サーバー機能を持つ機器（ルーターなど）が存在するかご確認の上、本製品をご使用ください。
プロバイダからグローバルIPアドレスが割り振られている必要があります。
※御使用のモデム（ルーター）がUPnPに対応していない場合、お手数ですが別途をご用意下さい。
※ HMS-350Yは電気通信事業者の専用通信回線に直接つなぐ仕様にはなっていません。

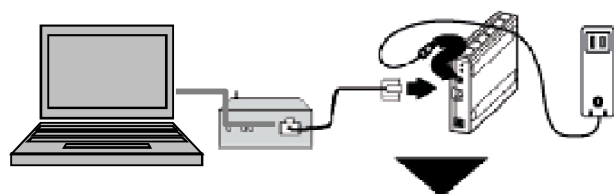
設置から使用開始までの概要

※お使いのモデム（ルーター）がUPnPに対応していない場合、お手数ですが別途ご用意下さい。
（手順では電源監視タブを例に説明します）

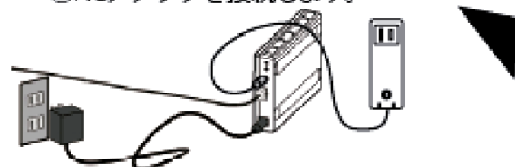
①周囲に物や家具が無いコンソートのそばに設置します。



②ルーターにWindowsPCとHMS-350Yメインユニットを接続します。また、専用端末（赤外線学習リモコン、電源監視タップ、無線ユニットなど）を接続します。

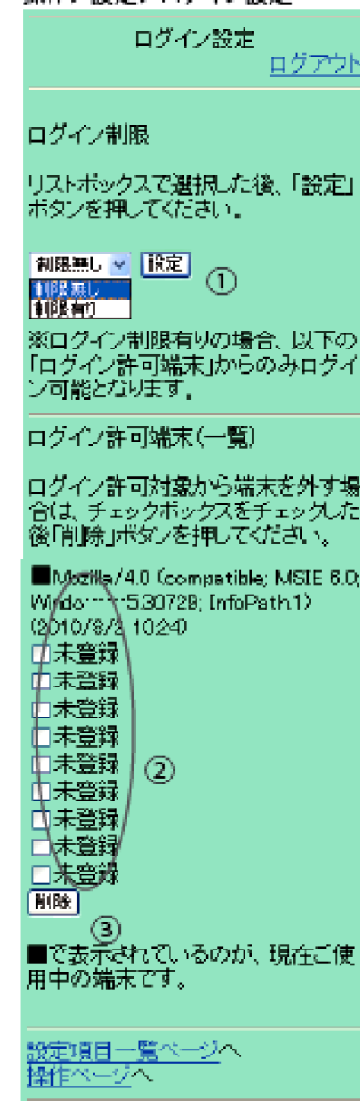


③ACアダプタを接続します。



<ログイン設定>

操作>設定>ログイン設定



HMS-350Yに接続出来る端末を
限定する事が出来ます。

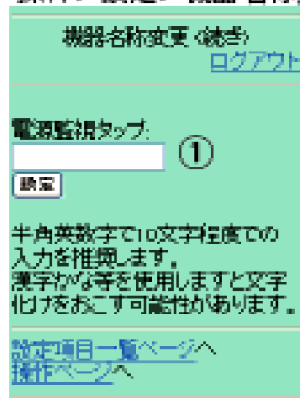
①「制限有り」を選択して設定ボタンを押すと②で登録されている端末以外からはアクセス出来なくなります。

②HMS-H350Yにアクセスした順に
端末が登録されています。

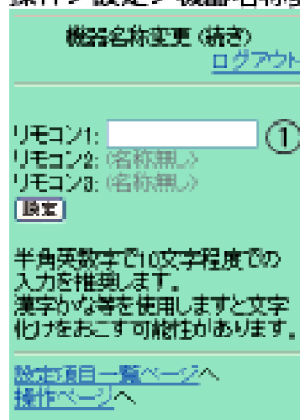
③削除したい端末にチェックを入れて削除ボタンを押すと、登録された端末を削除することが出来ます。

<機器名称変更(続き)>

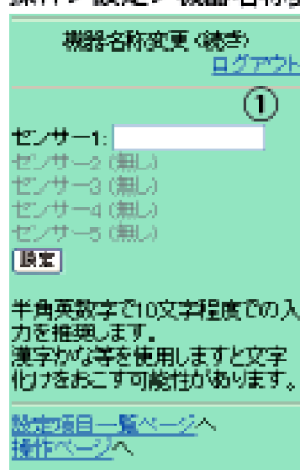
操作>設定>機器名称変更>(その他)(15W)



操作>設定>機器名称変更>(その他)



操作>設定>機器名称変更>(その他)



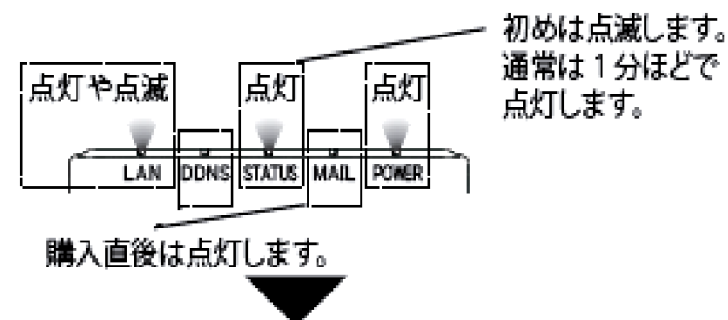
- ①任意の文字列を入力後、設定ボタンを押す事で反映します

下記の点にご留意下さい。

- ・設定した件名は、次回以降リストの上部に表示されます。
- ・入力する名称には文字化けする可能性がある為、漢字、カナ等の使用はお控え下さい。(半角英数字で10文字程度を推奨)
- ・任意に設定できる名称は1つなので、次回以降の入力は上書き処理されます。

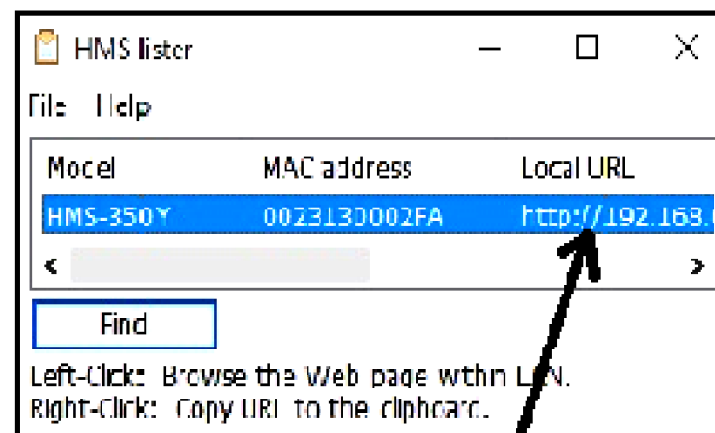
名称を入力後、設定ボタンを押して反映します。

④ランプが次のようになれば、準備完了です。

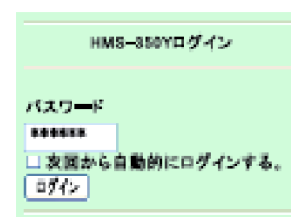


WindowsPCより

<http://www.opoltech.co.jp/support/h350y/index.html> にアクセスし、ローカルセットアップソフトウェアを動作。(詳細はスタートマニュアル参照)

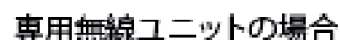


右クリック



シールに記載されたパスワードを入力してログインボタンを押します。

専用電源監視タップの場合



<設定項目一覧>

操作>設定

設定項目一覧

ログアウト

パスワード変更 ①

ログイン設定 ②

メール送信先 ③

メール件名変更 ④

機器名称変更 ⑤

センサー認証解除 ⑥

WEBサーバーポート番号変更 ⑦

Dynamic DNS 設定 ⑧

メインユニット Ver.1.00

操作ページへ ⑨

HMS-350Yの各種設定・変更等のページへ移動出来ます

- ①パスワード変更ページへ(P.31)
- ②ログイン設定ページへ(P.27)
- ③メール送信先設定ページへ(P.28)
- ④メール件名変更ページへ(P.29)
- ⑤機器名称変更ページへ(P.25)
- ⑥センサー認証解除ページへ(P.31)
(無線ユニットを接続している場合のみ表示されます)
- ⑦**※重要※**
HMS-350Yが使用するポート番号
設定変更ページへ(P.28)
- ⑧DDNSサーバーの設定・変更
ページへ(P.30)
- ⑨操作ページへ(P.20)

HMS-350Y操作

表示更新
ログアウト

市外発信リキコン

1 2 3 送信

メール送信先可

送信

設定

設定項目一覧

ログアウト

パスワード変更

ログイン設定

メール送信先

メール件名変更

機器名称変更

WEBサーバーポート番号変更

Dynamic DNS 設定

メインユニット Ver.1.00

操作ページへ

サポートページへ

メール送信先設定

ログアウト

HMS-350Yから、これらのメールアドレス宛にメールが送られます。
メールアドレスを入力して、「設定」ボタンを押してください。
6件まで登録できます。

設定

設定項目一覧ページへ

操作ページへ

メールで通知して欲しい場合は、右記のように設定して下さい。
設定が終わると、その事がメールで通知されます。

メールでの通知項目一覧

- ・専用電源監視タップ
接続機器の状態
- ・HMS-350YのWEBサーバーのアドレスの変化
- ・ログイン制限解除ページのアドレスの報告
- ・専用マグネットセンサーの対象物の状態
- ・メールの送信先の変更
- ・REMOTEコネクタから機器が外れた事
- ・電源投入、停電復旧

宛先のメールアドレスを入力して、設定ボタンを押して下さい。

WEB画面の操作 | 24

設置と接続 | 17

機器の初期化

以下に該当した時、本体を初期化する事で解決できる場合があります。

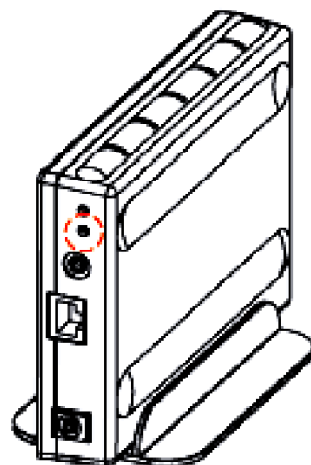
- ・メールアドレス登録前にWEBポート番号を変更してしまい、変更後のHMS-350Y設定画面URLの通知が受けられず、設定画面へアクセス出来なくなった場合
(他の理由でHMS-350Y設定画面URLが、わからなくなった場合も同様です)
- ・初期のパスワードを変更したが忘れてしまった場合

HMS-350Yは初期化することで、工場出荷時の設定に戻る為、本誌裏にあるURLとパスワードを使用して、再度設定画面へとアクセスする事が可能となります。

※初期化は設定画面へのアドレスやパスワードだけでなく、設定・機器名称等も全て工場出荷時の状態に戻ります、ご注意ください。

※注意※
また、初期化を含め本製品の操作は、ACアダプタをコンセントに接続後、30秒以上経過してから行ってください。ACアダプタをコンセントに接続してから約30秒間は、機器の動作準備のために操作を受け付けられない状態となります。

HMS-350YのINITIALIZEスイッチを2秒以上押し続けて下さい



<センサー毎のメール設定（見守り「無反応検知」）>

操作>センサー毎のメール設定

センサー1のメール設定 [ログアウト](#)

送信頻度
1度メールを送信すると、この時間が経過するまでは新たなメールを送信しません。

常に

無反応検知時間
センサーが一定時間無反応の場合に、メールを送信します。(上の送信頻度よりも優先されます。)ただし、送信禁止時間帯には送信しません。

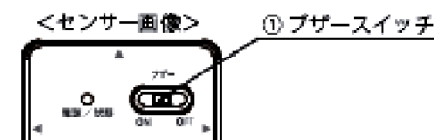
② 3 時間 ③
送信禁止 ④

[操作ページへ](#)

センサーが一定時間無反応状態を続けた際に、メール送信する設定にもする事が出来ます。

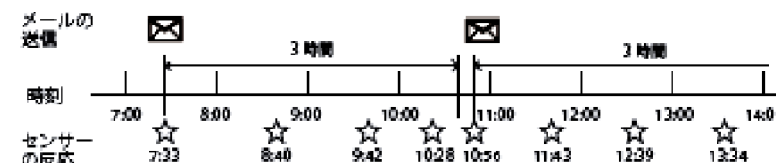
- ①マグネットセンサーのプザースイッチ (*1) をOFFにします。
- ②無反応と判定する時間を設定します。
- ③メールを受信したくない時間帯を設定して下さい。
- ④最後に送信ボタンを押して設定を反映

上記のように設定する事でセンサー無反応時間が②で設定した時間が経過するとメールが送信されます。



送信頻度の説明

メールが送信された後、設定した期間はセンサーの反応があっても送信されません。下図は3時間の場合の例です。

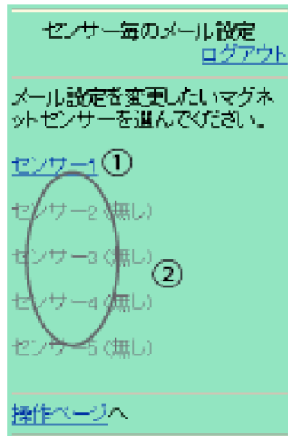


本製品ではセンサー異常の監視のために、定期的に通信を試みます。
(通信頻度は通常時1時間に1回、通信エラー発生時は回復まで2分に1回)

通信失敗を伝えるメールが頻繁に送られてくる場合は、無線ユニット、またはセンサーの位置を変更してみてください。

<センサー毎のメール設定（一覧）>

操作>センサー毎のメール設定



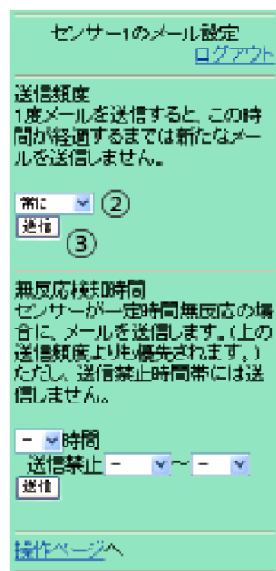
センサー毎のメール送信の可否を個別に設定する事が出来ます。

①設定したいセンサーをクリックして設定画面ページへ移動

②無線ユニットには最大で5個のマグネットセンサーを登録可能です。

<センサー毎のメール設定（防犯）>

操作>センサー毎のメール設定>センサー1～5



各センサー毎に、メール送信の可否も含めて詳細に設定する事が可能です。

①マグネットセンサーのブザースイッチ（※1）をONにします。（OFFにするとアラームは鳴らずメール送信のみ）P.23センサー画像参照

②リストから“常に”を選択して送信ボタンを押して設定を反映して下さい。

③送信ボタンを押して設定を反映。

上記設定にするとセンサーが動作（開）を検知する度にアラームが鳴りメールが送信されるようになります。

※重要※

アラームは一度鳴ると無線ユニットにある“設定/ブザー停止”ボタンを押さない限り鳴り続ける為、ブザースイッチの設定には十分注意して下さい。

WEB画面の操作

<アクセス方法>

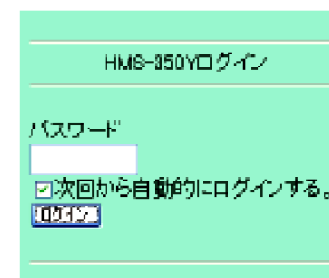
WEBアドレスは、マニュアルの裏に張られているシールにQRコードと共に表示されています。

基本的にHMS-350Yシリーズは外部からのネットワークアクセスからの設定・操作を前提としていますが、特定のソフトウェアを使用することによってローカルエリアネットワーク上からでも同様に設定・操作が可能です。

詳細は当社サポートページ
(<http://www.qool-tech.co.jp/support/h350y>)
をご参照ください。

<ログイン>

通常、最初に表示されるページです。



※重要※

パスワードの入力を5回間違えると30分間ログイン出来なくなります。

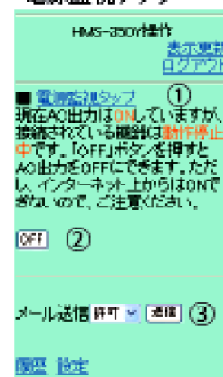
「次回から自動的にログインします。」をチェックしてログインすると、次回からは直接操作ページが表示されます。

※「ログアウト」すると「次回からは自動的にログインする」機能は解除されます。

わかりやすいパスワードに変更するには、P.31をご覧ください。

<操作>

-電源監視タップ-



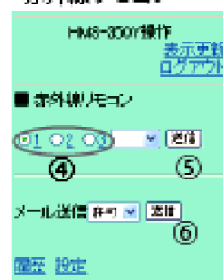
HMS-350Yiに接続された各種ユニットを操作する事が出来ます

- ①電源監視タップの動作履歴ページへ移動します (P.21)
- ②“OFF”ボタンを押すと電源監視タップに接続された機器への電流を停止して、機器の動作をOFFに出来ます (インターネット上からONにする事は出来ません)

※電源監視タップに何も機器が接続されていない場合“OFFボタン”は表示されません。

- ③メール送信の可否を一括で設定出来ます。

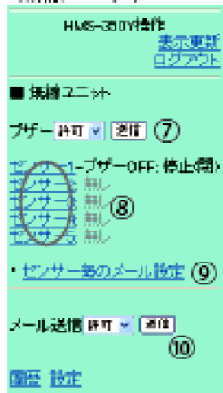
-赤外線リモコン-



- ④1～3の番号をクリックすると赤外線リモコン (1～3)の個別動作履歴ページへ移動します。
- ⑤操作したい機器を登録 (スタートガイド参照) してあるリモコンの番号横にあるラジオボタンをチェックした状態でリストから選択・送信すると、リモコンから機器に対して登録された信号が送信されます。

- ⑥メール送信の可否を一括で設定出来ます。

-無線ユニット-



- ⑦“禁止”に設定すると一時的に (5分間) ブザーが鳴らないように設定する事が出来ます。

- ⑧センサー個別の動作履歴ページへ移動します (P.21)

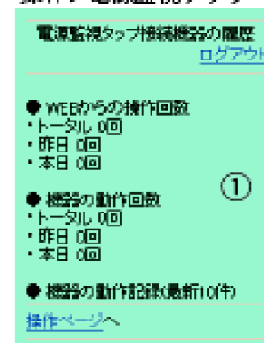
- ⑨メール送信の可否を各センサー毎に設定出来ます。(P.22)

- ⑩メール送信の可否を一括で設定出来ます。

※共通※
画面左下の“履歴”をクリックすると全接続機器の履歴を確認出来ます。

<機器の履歴>

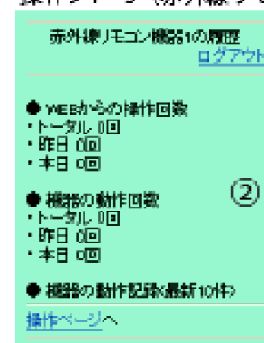
操作>電源監視タップ



各機器のWEBからの操作回数と動作回数が表示されます。
(機器の動作履歴は最大で10件まで記録)

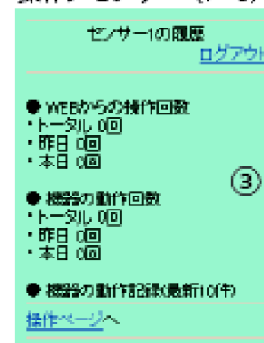
- ①電源監視タップのAC出力コンセントに接続した機器の運転状態です。

操作>1～3 (赤外線リモコン番号)



- ②赤外線リモコン機器に対するWEBからの操作。

操作>センサー (1～5)



- ③マグネットセンサーを取り付けた対象物の開閉等が記録されます。